

お台場旧防波堤（2 島）における鳥類のモニタリング調査 秋季調査（10 月）報告書

令和元年 11 月 一般社団法人 お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内旧防波堤における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内旧防波堤 2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
令和元年 10 月 24 日（木）	8 : 00～14 : 00	曇

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（1）船上センサス

鳥の島の 2 島の 50 m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50 m（両側 100 m）とした。

(3) 定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は 50 m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

(4) 任意観察調査

旧防波堤の 2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、7 目 19 科 28 種が確認された（表 2）。
- 確認種の多くは水域やその周辺に生息する鳥類であり、スズガモやカワウ、ユリカモメなど 14 種が確認された。島内の樹木やその周辺では、シジュウカラやヒヨドリ、メジロなど森林やその周辺に生息する鳥類が確認された。そのほか、猛禽類であるミサゴやトビ、都市部でも見られるハシブトガラス、ムクドリ、スズメなどが確認された。
- 渡り区分別にみると、キジバトやスズメなどの留鳥（ある地域で一年中見られる種）が最も多く、そのほかツグミやジョウビタキ、アオジなどの冬鳥（ある地域で冬季に見られる鳥）も確認された。
- 重要種はスズガモ、イソシギ、ミサゴ、トビ、モズ、イソヒヨドリ及びオオジュリンの合計 7 種が確認された（表 2）。島内では、桜の植栽木周辺で探餌するモズや、ヨ

シ原でオオジュリン、上空を採餌飛翔するトビ、護岸で採餌するイソシギとイソヒヨドリが確認された。島周辺海域では、群れで休息するスズガモや、飛翔するミサゴが確認された。

- 確認された重要種のうち、特に選定基準上の重要度が高い種としてはミサゴが挙げられる。ミサゴは環境省レッドリストでは準絶滅危惧、東京都レッドデータブックでは絶滅危惧 IB 類に該当する（表 2）。
- 外来種は確認されなかった。
- 確認個体数が特に多かった種はスズガモとヒヨドリであった。スズガモは、船上センサスでは 2 島で合計 158 個体が確認されたほか（表 3）、定点観察調査では 2 島で合計 164 個体が確認され（表 5）、ともに最も個体数の多い種であった。スズガモは毎年、島周辺の海域で越冬しており、今冬も例年通り越冬個体が飛来したものと考えられる。ヒヨドリは、ラインセンサスでは 2 島で合計 70 個体が確認され（表 4）、最も個体数が多かったほか、船上センサスでは 2 島で合計 46 個体（表 3）、定点観察調査では 2 島で合計 73 個体（表 5）が確認され、ともに 2 番目に個体数の多い種であった。秋の渡り途中の群れが一時的に飛来したと考えられる。

（2） 前回調査との比較

- 平成 30 年の秋季（10 月）～令和元年の夏季（7 月）までの調査を第 4 回、令和元年の秋季（10 月）以降の調査を第 5 回とし、第 4 回と第 5 回の秋季調査の結果を比較した。表 6 に確認種の比較、表 7～9 は手法別に、表 7 に船上センサス結果、表 8 にラインセンサス結果、表 9 に定点観察調査結果の比較をそれぞれ示した。確認種数は、第 4 回・第 5 回ともに東島で 23 種、西島で 22 種、合計 28 種であった（表 6）。第 5 回の確認種のうち、71%の種は第 4 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 表 10 に平成 27 年の夏季以降の、全調査回における確認種目録を示した。全調査回における通算の総確認種数は 71 種となった。
- 今回の秋季調査で初めて確認された種は、ヒドリガモとキンクロハジロの 2 種であった。2 種ともに西島の東側の海上でスズガモの群れに混じり、遊泳や休息する様子が確認された。一時的な飛来と思われる。
- ヒヨドリは毎年秋季に群れが確認されていることから、鳥の島を秋季の渡りの移動中における立ち寄り場所として利用していると考えられる。また、今回東島の高茎草地で、ヒヨドリがヨウシュヤマゴボウの果実を採食する様子が確認された。島にはほかにも、ヘクソカズラやノイバラなど果実をつけた草本が多数みられ、小鳥類の好適な採食場所となっていることが推察される。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査時期		重要種選定基準			
				秋季(10月)		①	②	③	④
				東島	西島				
1	カモ	カモ	ヒドリガモ		○				
2			カルガモ	○	○				
3			ホシハジロ		○				
4			キンクロハジロ		○				
5			スズガモ	○	○				留意
6	ハト	ハト	キジバト	○	○				
7	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
8	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
9	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
10		カモメ	ユリカモメ	○	○				
11			ウミネコ	○	○				
12			セグロカモメ	○					
13	タカ	ミサゴ	ミサゴ		○			NT	EN
14		タカ	トビ	○	○				NT
15	スズメ	モズ	モズ	○	○				VU
16		カラス	ハシブトガラス	○	○				
17		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
18		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
19		メジロ	メジロ	○	○				
20		ムクドリ	ムクドリ	○					
21		ヒタキ	ツグミ	○					
22			ジョウビタキ	○					
23			イソヒヨドリ		○				DD
24		スズメ	スズメ	○	○				
25		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
26		アトリ	カワラヒワ	○	○				
27		ホオジロ	アオジ	○					
28			オオジュリン	○					NT
合計	7 目	19 科	28 種	23 種	22 種	0 種	0 種	1 種	7 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)

天:天然記念物 特:特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)

国内:国内希少野生動植物 国際:国際希少野生動植物

③「環境省レッドリスト 2019 の公表について」(平成 31 年、環境省)における掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留意:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				秋季(10月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	0	1	1
2			カルガモ	0	2	2
3			ホシハジロ	0	4	4
4			キンクロハジロ	0	4	4
5			スズガモ	0	158	158
6	カツオドリ	ウ	カワウ	13	25	38
7	ペリカン	サギ	アオサギ	14	1	15
8	チドリ	シギ	イソシギ	1	0	1
9		カモメ	ユリカモメ	4	0	4
10	タカ	タカ	トビ	2	1	3
11	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	9	12
12		シジュウカラ	シジュウカラ	2	0	2
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	40	6	46
14		メジロ	メジロ	3	0	3
15		ヒタキ	ジョウビタキ	1	0	1
16			イソヒヨドリ	0	1	1
17		スズメ	スズメ	2	4	6
合計	6 目	12 科	17 種	85	216	301

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				秋季(10月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	ハト	ハト	キジバト	1	1%	0	0%	1
2	カツオドリ	ウ	カワウ	1	1%	5	19%	6
3	ペリカン	サギ	アオサギ	0	0%	2	7%	2
4	タカ	タカ	トビ	0	0%	1	4%	1
5	スズメ	モズ	モズ	1	1%	1	4%	2
6		カラス	ハシブトガラス	0	0%	7	26%	7
7		シジュウカラ	シジュウカラ	2	3%	0	0%	2
8		ヒヨドリ	ヒヨドリ	60	76%	10	37%	70
9		メジロ	メジロ	8	10%	0	0%	8
10		セキレイ	ハクセキレイ	2	3%	0	0%	2
11		アトリ	カワラヒワ	2	3%	1	4%	3
12		ホオジロ	オオジュリン	2	3%	0	0%	2
合計	5 目	12 科	12 種	79	100%	27	100%	24
				9 種		7 種		7 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				秋季（10月）				
				東島		西島		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	カルガモ	2	5	5	0	12
2			ホシハジロ	0	0	6	0	6
3			キンクロハジロ	0	0	1	0	1
4			スズガモ	0	15	149	0	164
5	ハト	ハト	キジバト	0	1	0	0	1
6	カツオドリ	ウ	カワウ	2	3	2	17	24
7	ペリカン	サギ	アオサギ	1	3	0	1	5
8	チドリ	シギ	イソシギ	0	1	2	2	5
9		カモメ	ユリカモメ	0	2	15	0	17
10		ウミネコ	0	1	1	2	4	
11	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	1	1	2
12		タカ	トビ	2	0	0	3	5
13	スズメ	モズ	モズ	1	0	0	0	1
14		カラス	ハシブトガラス	0	2	2	2	6
15		シジュウカラ	シジュウカラ	2	0	1	0	3
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	8	11	52	2	73
17		メジロ	メジロ	4	0	0	0	4
18		ムクドリ	ムクドリ	8	0	0	0	8
19		ヒタキ	ツグミ	1	0	0	0	1
20			ジョウビタキ	2	0	0	0	2
21		スズメ	スズメ	10	13	0	18	41
22		セキレイ	ハクセキレイ	2	2	1	1	6
23		アトリ	カワラヒワ	0	1	1	0	2
24		ホオジロ	アオジ	0	1	0	0	1
合計	7 目	19 科	24 種	13 種	14 種	14 種	10 種	394

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 前回調査結果との比較（秋季）

No.	種名	調査時期			
		秋季(10月)			
		第4回 (H30～ H31/R1)		第5回 (R1～)	
		東島	西島	東島	西島
1	ヒドリガモ				○
2	マガモ	○			
3	カルガモ	○	○	○	○
4	コガモ	○			
5	ホシハジロ				○
6	キンクロハジロ				○
7	スズガモ	○	○	○	○
8	キジバト	○	○	○	○
9	カワウ	○	○	○	○
10	アオサギ	○	○	○	○
11	コサギ	○			
12	イソシギ	○	○	○	○
13	ユリカモメ	○	○	○	○
14	ウミネコ	○	○	○	○
15	セグロカモメ	○	○	○	
16	ミサゴ		○		○
17	トビ	○	○	○	○
18	オオタカ		○		
19	ハヤブサ		○		
20	モズ	○	○	○	○
21	ハシブトガラス	○	○	○	○
22	シジュウカラ	○		○	○
23	ヒヨドリ	○	○	○	○
24	ウグイス	○			
25	オオムシクイ		○		
26	メジロ			○	○
27	ムクドリ			○	
28	ツグミ			○	
29	ジョウビタキ	○	○	○	
30	イソヒヨドリ		○		○
31	スズメ	○	○	○	○
32	ハクセキレイ	○	○	○	○
33	カワラヒワ	○	○	○	○
34	アオジ			○	
35	オオジュリン			○	
36	ドバト	○			
合計	36 種	23 種	22 種	23 種	22 種
		28 種		28 種	

表 7 前回調査との比較：船上センサス結果（秋季）

No.	種名	調査時期			
		秋季(10月)			
		第4回 (H30～ H31/R1)		第5回 (R1～)	
		東島	西島	東島	西島
1	ヒドリガモ	0	0	0	1
2	カルガモ	2	4	0	2
3	コガモ	1	0	0	0
4	ホシハジロ	0	0	0	4
5	キンクロハジロ	0	0	0	4
6	スズガモ	0	22	0	158
7	カワウ	64	8	13	25
8	アオサギ	20	0	14	1
9	イソシギ	0	1	1	0
10	ユリカモメ	1	1	4	0
11	ウミネコ	0	1	0	0
12	セグロカモメ	1	2	0	0
13	トビ	3	1	2	1
14	オオタカ	0	1	0	0
15	ハヤブサ	0	1	0	0
16	ハシブトガラス	1	4	3	9
17	シジュウカラ	0	0	2	0
18	ヒヨドリ	6	2	40	6
19	メジロ	0	0	3	0
20	ジョウビタキ	0	1	1	0
21	イソヒヨドリ	0	0	0	1
22	スズメ	3	0	2	4
23	ハクセキレイ	1	2	0	0
24	カワラヒワ	3	0	0	0
合計個体数		106	51	85	216
合計島別種数		12 種	14 種	11 種	12 種
合計種数		18 種		17 種	

表 8 前回調査との比較：ラインセンサス結果（秋季）

No.	種名	調査時期							
		秋季(10月)							
		第4回(H30～H31/R1)				第5回(R1～)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	マガモ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	13	21%	8	18%	0	0%	0	0%
3	キジバト	3	5%	2	4%	1	1%	0	0%
4	カワウ	2	3%	0	0%	1	1%	5	19%
5	アオサギ	1	2%	1	2%	0	0%	2	7%
6	イソシギ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
7	ユリカモメ	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%
8	ウミネコ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
9	トビ	0	0%	1	2%	0	0%	1	4%
10	モズ	0	0%	1	2%	1	1%	1	4%
11	ハシブトガラス	0	0%	1	2%	0	0%	7	26%
12	シジュウカラ	8	13%	0	0%	2	3%	0	0%
13	ヒヨドリ	26	43%	22	49%	60	76%	10	37%
14	ウグイス	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
15	メジロ	0	0%	0	0%	8	10%	0	0%
16	ジョウビタキ	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
17	スズメ	0	0%	4	9%	0	0%	0	0%
18	ハクセキレイ	1	2%	0	0%	2	3%	0	0%
19	カワラヒワ	0	0%	3	7%	2	3%	1	4%
20	オオジュリン	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
合計	10 種	61	100%	45	100%	79	100%	27	100%
		12 種		11 種		9 種		7 種	

表 9 前回調査との比較：定点観察調査結果（秋季）

No.	種名	調査時期															
		秋季（10月）															
		第4回（H30～H31/R1）								第5回（R1～）							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	マガモ	4	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	4	4%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	5	8%	5	2%	0	0%
3	ホシハジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	3%	0	0%
4	キンクロハジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%
5	スズガモ	55	57%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	15	25%	149	62%	0	0%
6	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
7	カワウ	4	4%	2	5%	0	0%	2	4%	2	4%	3	5%	2	1%	17	35%
8	アオサギ	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%	1	2%	3	5%	0	0%	1	2%
9	コサギ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10	イソシギ	1	1%	3	8%	5	12%	2	4%	0	0%	1	2%	2	1%	2	4%
11	ユリカモメ	3	3%	3	8%	2	5%	18	33%	0	0%	2	3%	15	6%	0	0%
12	ウミネコ	8	8%	3	8%	3	7%	29	53%	0	0%	1	2%	1	0%	2	4%
13	セグロカモメ	0	0%	1	3%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	ミサゴ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	1	2%
15	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	3	6%
16	モズ	1	1%	1	3%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
17	ハシブトガラス	2	2%	1	3%	2	5%	2	4%	0	0%	2	3%	2	1%	2	4%
18	シジュウカラ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	1	0%	0	0%
19	ヒヨドリ	10	10%	20	51%	27	66%	0	0%	8	18%	11	18%	52	22%	2	4%
20	メジロ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	9%	0	0%	0	0%	0	0%
21	ムクドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	18%	0	0%	0	0%	0	0%
22	ツグミ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
23	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%
24	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
25	スズメ	2	2%	2	5%	0	0%	0	0%	10	22%	13	21%	0	0%	18	37%
26	ハクセキレイ	2	2%	1	3%	1	2%	0	0%	2	4%	2	3%	1	0%	1	2%
27	カワラヒワ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1	0%	0	0%
28	アオジ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
29	ドバト	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	19 種	97	100%	39	100%	41	100%	55	100%	45	100%	61	100%	239	100%	49	100%
		13 種		12 種		7 種		7 種		13 種		14 種		14 種		10 種	

表 10 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 5 回)

No.	種名	調査時期									
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○		
2	ヒドリガモ										○
3	マガモ		○	○	○		○	○	○		
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	オナガガモ				○	○	○				
6	コガモ							○			
7	ホシハジロ						○	○			○
8	キンクロハジロ										○
9	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ウミアイサ		○					○	○		
11	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○		
12	ミミカイツブリ			○							
13	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○		
14	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	ゴイサギ					○					
17	ササゴイ		○								
18	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
20	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
21	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○		
22	コチドリ	○	○		○	○	○				
23	タシギ								○		
24	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	キョウジョシギ					○	○				
26	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	カモメ	○	○			○					
29	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○				
31	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		○		
32	ミサゴ	○		○			○		○		○
33	ハチクマ	○									
34	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	ハイタカ		○		○						
36	オオタカ	○		○	○	○	○		○		
37	ノスリ		○	○	○	○		○			
38	カワセミ			○			○				
39	チョウゲンボウ		○				○	○			
40	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○		

表 10 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 5 回)

No.	種名	調査時期									
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
41	モズ			○	○	○	○	○	○	○	○
42	カケス				○						
43	オナガ			○	○	○	○				
44	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ヒバリ						○				
47	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○		
48	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○			
50	オオムシクイ								○		
51	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	オオヨシキリ			○		○					
53	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	
54	コムクドリ				○	○					
55	シロハラ	○	○	○	○						
56	アカハラ	○			○			○			
57	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	
59	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○		○
60	キビタキ	○				○					
61	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	キセキレイ			○							
63	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	セグロセキレイ				○						
65	タヒバリ						○				
66	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	シメ							○			
68	ホオジロ	○		○	○			○			
69	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
70	オオジュリン			○						○	
71	ドバト	○	○					○			
合計	71 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	38 種	38 種	23 種	22 種

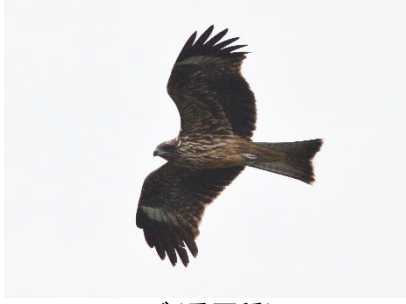
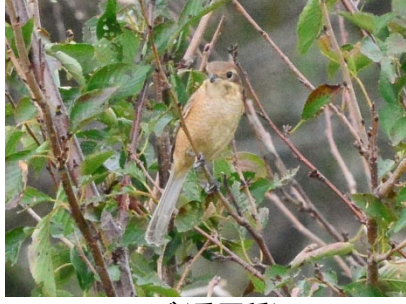
 カルガモ	 キンクロハジロ
 スズガモ(重要種)	 アオサギ
 イソシギ(重要種)	 ユリカモメ
 ウミネコ	 ミサゴ(重要種)
 トビ(重要種)	 モズ(重要種)

写真 2 旧防波堤で確認された主な鳥類 (1)

	
ハシブトガラス	シジュウカラ
	
ヒヨドリ(ヨウシュヤマゴボウを採食)	ジョウビタキ
	
イソヒヨドリ(重要種)	ハクセキレイ

写真 2 旧防波堤で確認された主な鳥類 (2)

	
ネコ目イヌ科 ホンドタヌキ <i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i> ・西島の樹林内でためフンが確認された。	有隣目ナミヘビ科 アオダイショウ <i>Elaphe climacophora</i> ・西島の護岸近くの草地で成蛇 1 個体が確認された。 東京都 RDB の準絶滅危惧に該当。

写真 3 旧防波堤で確認されたその他の特筆すべき動物